

みんなの大和ミュージアム^{やまと}

きょうは、たろうがずっとたのしみにしていた日です。まえからいきたかった大和ミュージアムにつれていってもらうのです。

いきのバスの中で、たろうは、

「おかあさん、大和のもけいがあるんだよね。本ものせん水かんもすぐそばで見られると、ともだちがいつていたよ。」

と、大きなこえではなしてしまい、おかあさんに、

「ほかのおきやくさんもいるからしずかにね。」
といわれました。

大和ミュージアムにやっつきました。

日よう日なので、見学をする人がいっぱいでした。中に入ると、大きな大和のもけいが見え、たろうは、はしって、よく見えるところに行きました。

たろうとおかあさんは、しゃしんなどがかぎつてあるへやから見学することにしました。おかあさんは一つずつゆつくりと見ています。

「はやく大和が見たいなあ。そばにいつてみよう。」

「たろう、ひとりでいつちやあだめよ。」

たろうは、おかあさんがとめるのもきかないで、いきなり、しゃしんを見ている人のあいだをはしりぬけ、ふねのちかくまでいきました。

「大きいなあ。本もののふねみたいだ。」

たろうは、ふねのまわりをはしりながら、むちゅうで見ました。大和のまわりにはたくさんの方がいます。そのあいだにわりこみ、ぐっとふねにちかづいていき

ました。

かぞくでしゃしんをとっていた男の人が、びっくりしたかおでたろうのほうを見ています。

あとからきたおかあさんは、たろうのうでをつかみ、おこったかおでたろうを見ています。そして、男の人に、

「すみませんでした。」

とあやまりました。

そのようすを見てたろうは、はっとしました。

